

# 元気、笑顔、感動の敬老会

海田じらく房では去年に引き続き、9月15日に敬老会を行いました。

お客様にも紙花や輪飾り等の作成をお手伝いいただき、職員手作りのメッセージカードをお贈りしました。海田じらく房らしい独自の敬老会が行えたと思います。

メッセージカードを手渡す際には記念撮影を。今年88歳の米寿のお客様には、これからもお互い元気で長生きできるようにお祝いを言い、長生きの秘訣は笑顔だとばかりに満面の笑顔、大きな笑い声で楽しんでいただきました。

お祝いの後は、日ごろより交流のあるボランティアの「お楽しみ一座」の方々が、テーマソング、腹話術、四回し、マジック、歌・踊りと、皆様を楽しませてくださいました。着物の踊りでは、昔を思い出したのか、涙を流し感動される男性陣。「大変



良いものを見せていただけました。また来年が楽しみだ」と喜ばれました。女性陣も、「足が元気になれば一緒に踊りたい」と、目を輝かせて見つめていらつしやる姿が印象的でした。最後のお茶会では、お客様の知り合いの方が多いので会話も弾み、若い頃の話や地域の話で気分転換になったご様子でした。お客様は満足そうに家路につかれました。

ボランティアの方々のご協力が無事に敬老会を楽しく終えることができ、この場をお借りして、心よりお礼を申し上げます。2カ月に1度の「お楽しみ一座」の日を、お客様と共に楽しく過ごせる時間にしていきたいと思っています。

- 朗読の会「やまびこ」
- お楽しみ一座
- 文化祭（三二喫茶）
- 亥の子祭り
- お餅つき
- 忘年・クリスマス会

11・12月行事

## 海田事業所(じらく房)



〒736-0022 安芸郡海田町蟹原二丁目6番2号  
TEL (082) 847-5637 FAX (082) 847-5638  
E-mail/kaitajirakubou@jiraku.or.jp

●小規模多機能型居宅介護

# 新しい仲間がやってきた!

8月、瀬野事業所に新しい仲間がやってきました。職員が望んでいた、車椅子も乗れる新車です。銀色のVOXY(ヴォクシー)という車なので、名づけて「銀ヴォク」。旧来のVOXYは黒色なので、「黒ヴォク」となりました。



皆さんに好評の銀ヴォク

新規購入に伴い、これまで活躍していた茶色のフレンドイ、愛称「茶フレ」が、お勤めを終えました。この茶フレは16年前頃より瀬野川ホームで、平成23年5月より当事業所にて大活躍。年季の入ったディーゼルエンジンならではの音と振動にとっても愛着があり、送迎だけでなく、物品の運搬も得意とする働き者だったので、寂しい限りです。

銀ヴォクの最大の特徴は、8名定員ということだけではなく、3列目の座席を跳ね上げ、車椅子の方がそのまま乗車することも可能な優れものです。開設時から乗車している車輛は軽自動車で定員は3名。送り迎えに何往復もすることがあり、お客様に待つ

せすることもありませんが、銀ヴォクの活躍により改善を期待しています。車の座席に乗ることが難しい方や、車椅子を使用されている方は外出行事に参加する機会が限られていましたが、これを機に、少しでも外出行事への参加の機会が増えればと思います。乗車いただいたお客様からは、「乗り心地抜群! 気持ちいいよ!」等、お褒めの言葉をいただいています。新車なのでピカピカ。運転手も緊張してハンドルを握っています。茶フレに負けない活躍を期待し、どの車両にも愛情を注いで、大事に安全運転で乗ってほしいと思います。

●小規模多機能型居宅介護  
●認知症対応型  
    デイサービスセンター

## 瀬野事業所(じらく房)



〒739-0311 広島市安芸郡瀬野一丁目3番1号  
TEL (082) 894-2255 小規模多機能型居宅介護  
TEL (082) 894-2200 デイサービスセンター  
FAX (082) 894-2266 E-mail/senojirakubou@jiraku.or.jp

11・12月行事

- 地域交流会
- 誕生日会
- 非常時対応訓練
- 忘年・クリスマス会
- イルミネーションツアー

# 慈・楽の心

法人理念  
「慈」とは、慶ぶ、愛する、大切に  
「楽」とは、心身が安らぐ、楽しい

発行：社会福祉法人 慈楽福祉会

第88号 2012年(平成24年)11月1日



法人本部：  
広島市安芸区中野三丁目9番5号 ■設立/昭和50年6月10日  
TEL (082) 893-6606 FAX (082) 893-6608 URL http://www.jiraku.or.jp

# 地域の皆様とのつながりを大切に



老いも 若きも

9月29日(土)、西区南観音公民館において演芸会を催し、たくさんの方々に楽しんでいただきました。慈楽福祉会でお招きしている名人の芸を地域の方にも楽しんでいただければと、ピア観音

ピア観音ができて10周年。当初は行事の運営も手探りで、第1回目の演芸会は告知もうまくできず、観音新町会館内の会場は観客がまばらでした。幸い翌年は会場がいっぱいになり、それ以降は広い南観音公民館で催しています。今回は落語、紙切り、太神楽の3つの演目をご披露いただきました。

10月の町内会秋祭りでは、若い職員が地域の皆さんと一緒に神輿を担ぎ、町内を練り歩きます。毎年、ピア観音の玄関で皆さんに休憩を取っていただき、入所中のお客様に祭りの雰囲気を楽しんでいただいています。特に日曜日の子ども神輿はたくさんのかわいい笑顔に囲まれ、皆さんもいつもとはまた違った、とても嬉しそうな表情をされます。

1月の「とんど祭り」や8月の「盆踊り」など、地域の行事にピア観音からも出店し、入所者の皆さんをお連れしています。

9月には町内会のご好意で、ピア観音の事務所に防災行政無線を設置していただきました。それと併せて、西消防署の提案もあり、観音新町町内会自主防災会と「災害相互応援協力協定」を結ぶ方向

で事務を進めています。また将来有為な学生・職業人の育成の一助になればと、近隣の中学校からの職場体験や、県内の大学・専門学校からの各種実習生の受け入れなどにも努めています。日々、地域の中での施設である

と強く感じます。これから地域の皆様と共に歩んでいきます。



湯呑茶碗が回ってまーす

紙切り

お客様のリクエストにお応えして



## 観音事業所(ピア観音)

〒733-0036 広島市西区観音新町一丁目7番40号  
TEL (082) 503-7772 FAX (082) 503-7774  
E-mail/plakannon@jiraku.or.jp

●介護老人保健施設  
●通所リハビリテーション

11・12月行事

- 喫茶キリマンジャロ
- 割烹着交流会
- そば打ち
- 餅つき
- 忘年・クリスマス会



中野の大先輩！

窪 瑞香様 (91歳)



毎日元気にリハビリをされている窪瑞香様は、大正10年3月7日に広島市稲荷町で生まれたシティーガール。中野に引っ越して、すでに50年が経ったそうです。

以前は、当法人「瀬野川ホーム事業所」で調理員として働かれていました。昔の調理方法やメニューなど、「なるほどね〜」と感心しながら、あんな話やこんな話…いろいろなお話しをお聞きます。気になる方は是非、安芸中野事業所の窪様のごほうまで足を運びください。

窪様に思い出を聞いてみました。「栄養士さんと協力して、毎日料理を提供していましたが、とても大変だったねえ〜」お正月には、職員は着物を着て働いていたことを今でも覚えていて「一番の思い出は、春と秋に職員旅行に皆で行ったこと。それを楽しみに働いていたね〜」思い出話に花が咲き、楽しい話、辛い話



昭和60年ごろの窪様(前列中央)

- 昼食外食会
- みかん狩り
- 忘年・クリスマス会
- イルミネーション見学

11・12月行事

本部・安芸中野事業所

〒739-0323 広島市安芸区中野三丁目9番5号  
TEL (082) 893-3360 FAX (082) 893-0522  
E-mail/akinakano@jiraku.or.jp

- ケアハウス
- 法人本部
- 特別養護老人ホーム
- ショートステイ
- デイサービスセンター
- ホームヘルパー
- 居宅介護支援事業所

ご存知ですか？ 本部より

施設サービスの居住費・食費の負担軽減

今回は、保険外利用者負担額である「施設サービスの居住費（滞在費）及び食費の負担軽減」について説明します。

施設サービス及び短期入所サービスの食費・居住費（滞在費）について、ご利用者は施設等との契約に基づく額を負担します。ただし、所得が低い方は負担限度額が設けられており、限度額を超えた分は補正給付（特定入所者介護サービス費等）として、現物給付されます。

限度額が設定される所得が低い方とは、市町村民税世帯全員が非課税の方で、収入等により次の3段階に区分されています。市町村は対象者に対して、申請により負担限度額を記した「介護保険負担限度額認定証」を交付します。施設等は、それに従い負担額を徴収します。

生活保護を受けている方

老齢福祉年金を受給している方Ⅱ（負担限度額）居住費（滞在費）0円/日、食費300円/日

前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計額が年間80万円以下の方Ⅱ（負担限度額）居住費（滞在費）320円/日、食費390円/日

前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計額が、年間80万円を超える方（年金収入だけの場合、80万円超266万円以下）Ⅱ（負担限度額）居住費（滞在費）320円/日、食費650円/日

※いずれも多床室（相部屋）に入所されている場合です。該当する方は、介護保険被保険者証を持って、お住まいの区の健康長寿課係で申請手続きを行ってください。詳細は同健康長寿課介護係係へお問い合わせください。

法人自慢の職員を紹介！

僕の第2の人生

海田事業所

空田 道章 (介護職・64歳)

昨年12月から、「海田じらく房」で働いています。それまでは全く違う仕事をしていたのですが、退職してからは毎日が自宅での生活。何かできることはないかと考え、慈楽福祉会での仕事がスタートしたので。

介護という仕事は初めてで、最初の頃は何をしていたのか分からず、勉強の日々でした。まず、リハビリ体操。お客様と見よう見真似で順番を覚え、今では力セットタイプの音だけでどの



体操かが分かるようになりました。続いてレクリエーション。お客様より必死にやってみよう、汗ダクタクになっていた。どうしても真剣にやってみよう。また小規模では、料理も作ります。自宅では妻の手伝いをしたりと、少しは料理経験があるのですが、最初はどれくらいの量だと全員分足りるのかわからず、お客様によっては量を少なめにしてほしいという意見もあり…とても舞いながら作っています。

また特養・老健と違い、お客様と一緒に食事を食べています。介助をしながら、会話をしながら、食事の時間を楽しんでいます。作る人によって味の濃さも違い、それも楽しみの一つです。

じらく房で、皆さんと一緒に自分もリハビリをする毎日を送っています。介護を始める前は85kgあった体重が、今では77kgまで減少。その体重をキープしています。

これからも、海田じらく房で仕事にリハビリに、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

秋と言えば文化祭です



11月12日から19日に文化祭を開催します。瀬野川ホームで文化祭がうぶ声を上げたのは平成14年。リハビリ室職員が音頭をとり、ミニ文化祭を行ったのが始まりでした。当時は特養・養護のお客様が中心となって職員がお手伝いをし、お客様一人ひとりの個性が光る、創意工夫された素敵な作品が発表されました。

現在は、デイサービスのお客様、他事業所のお客様の作品を多数展示させていただき、にぎやかに、華やかに、多くの方々の目を楽しませていきます。

昨今、入所されているお客様の身体能力が低下。そのため、「もう文化祭は難しいのでは…」という声も聞かれます。しかし、「私にできること

とがあれば、いつでも言ってください」と、作品作りに精を出されたり、「目はあまり見えませんが、耳の方は大丈夫です」と、コーラスやカラオケ行事に欠かさず参加されるお客様もいらっしゃいます。文化祭最終日には発表会が行われ、コーラス、カラオケ、銭太鼓等、日々の練習の成果を披露。舞台の上ではお客様が主役で、温かい拍手喝采をいただいております。

文化祭はお客様にとって「生きる喜び」「生きる張り合い」になっています。お客様の生き生きとした姿を是非ともご覧ください。



瀬野川ホーム事業所

〒739-0323 広島市安芸区中野東二丁目34番1号  
TEL (082) 893-1888 FAX (082) 893-1887  
E-mail/senogawa@jiraku.or.jp

- 特別養護老人ホーム
- 養護老人ホーム
- デイサービスセンター

11・12月行事

- 家族会班別会
- 菊花展観賞
- 文化祭・発表会
- みかん狩り
- 忘年・クリスマス会
- 餅つき・門松作り